

『源氏物語』の舞台を地理的に調査、検証した文学地理書

# 源氏物語の舞台を訪ねて

加納重文著

王朝文学の最高峰『源氏物語』の背景をなす舞台は、実在する場所・施設をモデルにして描かれている。本書では、それがどこであるのか、どのような所であるのかを考察。内裏から越前まで、紫式部ら平安貴族をめぐる地理環境を検証し、『源氏物語』の舞台を生み出した地理の実相に迫る。

## 目次

- 序 章 源氏物語の地名について
- 第一章 内裏と大内裏
- 第二章 桃園から一条大路
- 第三章 紫野齋院と祭のかへさ
- 第四章 二条院と二条大路
- 第五章 中川と二条京極
- 第六章 夕顔宿と清水坂
- 第七章 北山なにがし寺
- 第八章 逢坂越から石山
- 第九章 六条院と河原院
- 第十章 桂から嵯峨御堂
- 第十一章 法性寺から宇治
- 第十二章 小野と比叡山
- 第十三章 須磨・明石と住吉社
- 第十四章 玉鬘の初瀬詣
- 第十五章 紫式部の越前下向



## 加納重文 プロフィール

- 1940年 広島県福山市に生まれる。
- 1971年 東京教育大学大学院博士課程単位取得退学。
- 1978年 秋田大学・平安博物館を経て京都女子大学で勤務。
- 2006年 京都女子大学を定年退職。
- 現在 京都女子大学名誉教授。博士(文学)。

### 〔主要著書〕

- 『源氏物語の研究』（望稜舎）
- 『平安女流作家の心象』（和泉書院）
- 『歴史物語の思想』（京都女子大学）
- 『源氏物語の地理』（思文閣出版、共編）
- 『明月片雲無し—公家日記の世界—』（風間書房）
- 『松本清張作品研究』（和泉書院）
- 『平安文学の環境』（和泉書院）

## 注文書

書店（帖合）印

条件

注文数 担当 冊 様

書名

源氏物語の舞台を訪ねて

発行 宮帯出版社 〒六〇二—一八四八八 京都市上京区真倉町七三九—一

ISBN978-4-86366-088-5 C0095 ¥1800E

定価(本体1,800円+税)

年 月 日

宮帯出版社 京都市上京区真倉町739-1 www.miyaobi.com  
TEL(075)441-7747 FAX(075)431-8877